

会 議 録

会 議 名		第 77 回 八王子市ごみゼロ社会推進協議会			
日 時		令和 8 年(2026 年) 5月 21 日(木)	開始	午後 2 時 00 分	終了 午後 3 時 30 分
場 所		本庁舎 8 階 801 会議室			
出 席 者	委 員	石井委員、守屋委員、田頭委員、伊藤裕司委員、佐怒賀委員、 嶋田委員、伊藤奈美江委員、伊藤洋史委員、増淵委員 以上 9 名			
	事務局等	岡田資源循環担当部長、小池資源循環課長、森田施設計画担当 課長、青木廃棄物対策課長、河内ごみ総合相談センター所長、 林戸吹清掃事業所長、鈴木館清掃事業所長、熊澤資源循環施設 管理課長 【資源循環課】白鳥主査、小岩井主査、岩崎主査、山本主査、川端 主査、日野主任、大塚主任、清水主任、大神田主任、山木主事、 森田専門員、木下アドバイザー			
欠 席 者		田代委員、住村委員、矢島委員、田野倉委員、黒木委員 以上 5 名			
議 題 等		1.議題 (1) 令和 6 年度(2024 年度)一般廃棄物の排出及び処理状 況等の調査結果について(報告) (2)粗大ごみ等の減量に向けた連携協定の締結について(報告) (3) ZEV ごみ収集車実装支援事業への参加について(報告) 2.その他			
公開・非公開の別		公開			
傍 聴 人		なし			
配 布 資 料		会議次第 第 77 回ごみゼロ社会推進協議会 席次表 八王子市ごみゼロ社会推進協議会 委員名簿 令和 8 年(2026 年)4 月 1 日付環境部(資源循環所掌課)人事 異動一覧			

	<p>資料1 令和6年度(2024年度)一般廃棄物の排出及び処理状況等の調査結果について(報告)</p> <p>資料2 粗大ごみ等の減量に向けた連携協定の締結について(報告)</p> <p>資料3 ZEV ごみ収集車実装支援事業への参加について(報告)</p>
--	--

1 議題

(1)令和6年度(2024年度)一般廃棄物の排出及び処理状況等の調査結果について(報告)

【意見、質疑応答等】

委員:ごみゼロは前から取り組んでいると思うが、その努力の内容を教えてください。町会やシニアクラブにも伝えたい。

市:ごみ量の少なさ(人口50万人以上の都市)、近年は令和3年度(2021年度)から4年連続で全国1位となっている。要因は市民・事業者の協力によるもので、食品ロス削減(タベスケ、てまえどり)などを進めている。また、粗大ごみの削減のため、リユース事業者と連携している。

委員:一般家庭への啓発はどうなっているのか。

市:広報やホームページだけでは不足しているとの認識がある。今後もイベントや様々な場面で周知を強化する。

委員:アルミ缶の値段が上がり、持ち去りが増えている。条例などはあるのか。

市:廃棄物条例で持ち去りの禁止を規定している。パトロールを行い、不法投棄も含めて対策している。通報があれば現地確認し、パトロール強化している。

委員:環境フェスティバルで衣服のリサイクルを扱う予定だが、古着はどう処理されるのか。

市:一部は国内で素材利用されるが、約9割は東南アジア等へ輸出され、リユースされている。

委員:真夏の昼間のごみ・資源物収集はやめたほうがいいのではないかと。ファン付きベストみたいなものはどうなのか。

市:乗り降りの時にファンが邪魔とのこと。飲み物や交代制など、対策はしっかり行い、業務についてもらっている。

(2)粗大ごみ等の減量に向けた連携協定の締結について(報告)

【意見、質疑応答等】

委員:今回の協定事業と他のリユースサービスとの違いはなにか。

市:ジモティースポットは値段が付かないようなものまで引き取る。無料で渡すこともある。リユースショップについても、いままでどおり案内する。

委員:協定会社2社のサービスは、インターネットになる。そうすると使い方が難しい。サポートはあるのか。

市:基本は事業者対応だが、市としても分かりやすい案内をしていく。

委員：4月開始なので、半年ごとなど定期的に報告してほしい。広報を市民はあまり見ていない。このような良い取り組みを市民はあまり知らない。56万人の市民に知らせていく必要がある。

市：周知ができていない実情がある。みなさんからのご意見をいただきながら状況の報告をしていきたい。

委員：ジモティースポットのチラシについて、「お金になる」と誤解される可能性がある。お金にならないことを表現したほうが良いのではないか。

市：リユースショップは買い取りになるがジモティースポットは売れないが使えるものを引き取ってもらえるので、いろいろ活用してほしい。

委員：車でわざわざ持って行って、お金にならないとその場で知ると問題になる。お金にならないことは明確にしたほうが良い。

市：誤解が無いように対応していく。

委員：小中学校はよく市からの周知のチラシなど配布されるが、大学生など若い世代にも周知が必要。大学生が寮に入るときなどに必要なものをそろえるのにとてもしよいサービスだと思う。SNS活用を検討してはどうか。

市：大学では、出前講座を行っている。そのような場を活用していきたい。今回の協定業者に話を聞くと30・40代が主な利用者になっているため、まずは親世代への周知を狙っている。

委員：カレンダーに載せるのも良いのではないか。

市：周知啓発については、これからも検討していく。

(3) ZEV ごみ収集車実装支援事業への参加について（報告）

【意見、質疑応答等】

委員：何台導入か。

市：1台である。

委員：美化収集とは何か。

市：公園清掃などのごみを回収するものである。

委員：ぜひ子供に見せたい。

市：学校での出前講座時に車両を見せるなど、環境教育にも活用予定。ただし、大きい車両のため、学校によっては搬入不可能な場合もある。

委員：ゼロカーボンは大きな目標だが、市民としては意識している人は少ないのではないか。毎日の生活でなかなか意識しない。ゼロカーボンの取り組み所管はどこか。

市：ゼロカーボン推進担当は同じ環境部にある。一緒に進めていく。節電・節水など身近な取組から広げる必要がある。

委員：カレンダーアプリのトップ画面に「使い忘れた野菜ありませんか」と表示されている。これを見るたびに食品ロスは、家庭だけでなく社会全体でみんなが主体的に取り組む必要があると感じる。

市：食べきりなどの食品ロス削減の啓発を引き続き行っていく。

2 その他

【ごみカレンダーアプリ】

市：前回の会議でご案内させていただいた。ごみカレンダーアプリの操作性・利便性について、感想・ご意見を伺いたい。

委員：このアプリは、八王子限定か。

市：共通のものである。

委員：アプリの名称「さんあーる」がわかりにくい。

市：パッケージで契約しているため、使用料も格安であり変更できない。

委員：家族は、アプリの存在を知らなかった。使ってもらったところ、回収日の通知が便利とのことだった。

委員：どのくらいダウンロード数は増えたか。

市：今朝時点で約 53,000 件。前回より 10,000 件増えた。3 月に配布したカレンダーでアプリの記載は気になったか。

委員：もっとキャッチーな雰囲気にしたほうが良いのではないか。

委員：QR を大きく。なかなか気づかない。

【手数料・使用料の改定】

市：公共施設の運営や証明書発行などの行政サービスを維持するため、使用料・手数料を改定する。ご理解とご協力をお願いします。

【市からお知らせ】

市：次回のごみゼロ社会推進協議会は、10 月 22 日(木)午後2時から 801 会議室で開催する。